

# 原発輸出問題を考える

私たちは、「原発メーカー訴訟」の会を設立し、福島原発事故を起こした原発メーカーの日立・東芝・ゼネラル・エレクトリック（GE）の社会的責任を問う訴状を本年11月11日に提出する予定です。

原発メーカーは事故の責任を免責され、世界中に原発を輸出しようとしています。私たちは福島の状態を見るにつれ、再稼働に反対し、日本は二度と海外への加害者になってはいけないと考えます。どうして原発メーカーは事故の責任を問われないのか、原発輸出がはらむ問題は何なのか、皆さんと考えたいと集会を準備しました。多くの方のご参加をお願いします。

1. 日時

2013年 **10月19日（土）** 14:00～16:30

2. 場所

日本キリスト教団 信濃町教会 2階集会室

3. プログラム（概要）

基調講演： 渡辺信夫（「原発メーカー訴訟」の会 会長）

発題（予定）： 島昭宏（弁護士、「原発メーカー訴訟」弁護団代表）、

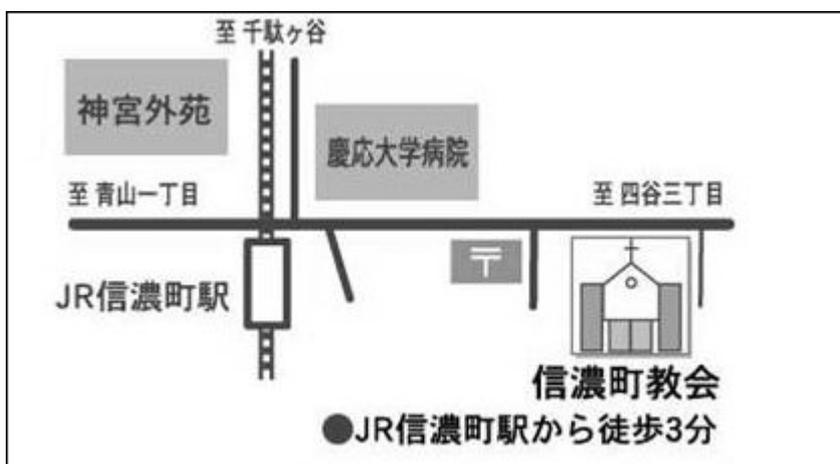
河合 弘之（弁護士 脱原発弁護団全国連絡会会長）、

満田カナ（FoE Japan）、佐藤大介（NNAF-J）、山本太郎（国会議員）

4. 参加費用 500円（資料代）

主催：「原発メーカー訴訟」の会

賛同者：多数（裏面をご参照下さい。）



### 【本集會に賛同されている団体・個人】

日本キリスト教協議会平和・核問題委員会、原子力行政を問う宗教者の会、日本環境法律家連盟(JELF)、日本同盟基督教団、赤羽聖書教会、日本キリスト教会横浜長老教会靖国神社問題委員会、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、脱原発かわさき市民、ノーニュークス・アジア・アクションズ

相沢緑(日本人・キリスト者・Workers for Peace)、秋山眞兄(原発体制を問うキリスト者ネットワーク書記)、石井摩耶子(元大学教員、日本YWCA会員)、岩井健作(明治学院教会牧師)、上原公子(元国立市長)、大井靖子(キリスト者、福島原発告訴団、調布原発ゼロ行動)、大倉一郎(フェリス女学院大学准教授)、沖田忠子(横浜YWCA運営委員)、栗原茂(平和を実現するキリスト者ネット、牧師)、小井沼眞樹子(日本キリスト教団 ブラジル宣教師)、小塩海平(東京農業大学准教授)、小林 望(出版社社長)、佐々木治夫(カトリック司祭・ブラジル フマニタス慈善協会理事長)、島 隆三(日本基督教団 仙台青葉荘教会牧師)、東海林勤(日本キリスト教団牧師)、正田眞次(「学座・とうごまの葉の下」代表)、平良愛香(日本キリスト教団牧師)、高木久仁子(高木仁三郎市民科学基金事務局長)、高木 寛、高柳富夫(農村伝道神学校校長)、辻 幸宏、内藤新吾(原発体制を問うキリスト者ネットワーク共同代表)、永野茂洋(明治学院大学教授)、野寺博文/野寺恵美(日本同盟基督教団、赤羽聖書教会牧師)、坂内宗男(日本友和会<FOR>)、牧野時夫(泊原発を止める会 代表・農民音楽家)、松本 敏之(日本基督教団経堂緑岡教会牧師)、村岡崇光(オランダ、ライデン大学名誉教授、オランダ日本語聖書教会代表責任者)、矢澤俊彦(日本基督教団 荘内教会牧師)、渡辺眞知子(京都府)、